

Donner

DED-200

ELECTRONIC DRUM

取扱説明書
5ドラム3シンバル



www.idonner.com
www.donnerdeal.com

お客様

Donner製品をご注文いただき、ありがとうございました。こちらはDonnerのカスタマーサービスチームと申し上げます。

品物をお受け取った後、問題があるかどうかをご確認くださいますようお願いいたします。

何か問題がありましたら、遠慮なくAmazon様（注文履歴ページ）または下記されたメールアドレスまでご連絡ください。



Welcome to Donner

Gmail: donnerdeal@gmail.com

サイトのアドレス: <https://www.donnerdeal.com/>

Donnerを選択いただき、誠にありがとうございました。謹んでご挨拶を申し上げます。

Donnerのカスタマーサービスチームと申し上げます。

機能概略

- 6層の力を採用し、実際のドラムと同じような感覚で演奏することができる
- ダブルトリガに対応し、サイドタップ応答があります。
- ドラムグループ15セット、カスタムドラムセット3セット
- 音色数195種類とGM標準音色庫（歌曲使用）
- 30曲で、GMの音量とドラムの音量を調節できる（練習用）
- エフェクト：残響タイプ0-5、二段バンドのEQ イコライザー
- 各ドラムディスクの感度パラメータ調整に対応
- 速度制御：30～250ビート/分
- メトロノーム：9種類
- 他の機能：カスタム設定保存、出荷時設定の復元
- ソケット：USB MIDI、イヤホン、オーディオ入力、オーディオ出力



目次

機能概略	1
目次	2
組立図	3
付属品を検査する	3
ドラムフレーム	4
ブラケットの取り付け	4
底鼓を組み立てる	5
踏み木棒の取り付け	5
底鼓と踏み金槌の固定	5
本体ケースステーの取り付け	5
支持棒と本体箱の取り付け	6
打撃部品の取り付け	7
底鼓を置いて接続線を挿入する	8
本体ケース挿入口図示	9
電源ケーブル接続	9
USB MIDIソケット	9
イヤホンジャック	9
オーディオ出力ソケット	9
オーディオ入力ソケット	9
端子を増やす	9
操作の説明	10
起動電源	10
音量調節	10
ドラムの音色選択	11
ドラム叩き	11
メトロノーム	12
デモ曲を内蔵して再生	12
再生速度	13
打楽器部品の感度調整	13
ミキシング/バランス	13
出荷時設定をリセットする	13
付録	14
ドラムの音色	14
プリセットドラムセット	14
カスタムドラムセット	14
デモ曲	14
製品のメンテナンス	15
安全上のご注意	16
保証書	19



組立図

ご注意

- 本製品を正しくご利用いただくために、マニュアルの手順に従って設置してください。ご使用前に、必ずご使用前に取り扱い説明書をお読み下さい。
- 接続完了後、取扱説明書に従って電源を入れ、音が聞こえているかどうかをご確認ください。
- 安全性のため、未成年者一人で本製品を組み立てないでください。

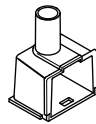
01

付属品の検査

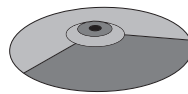
●梱包を開けてから、付属品が含まれているかどうかをご確認ください。
何か欠けがありましたら、販売店までご連絡ください。



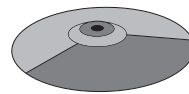
ドラム本体ケース



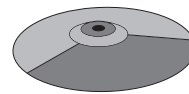
本体ケースステー



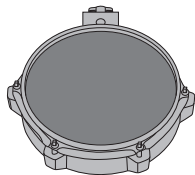
シンバルを踏む



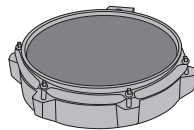
高架シンバル



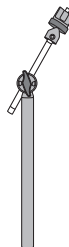
叮叮シンバル



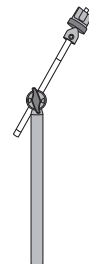
太鼓をたたく
(3個)



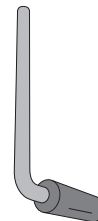
軍用の太鼓



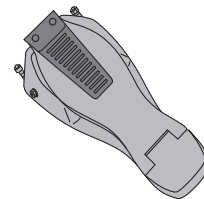
シンバル支柱短い



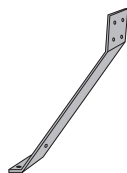
シンバル支柱長い
(2個)



ドラムの支柱

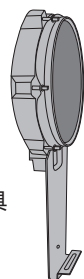


シンバル制御ペダルを踏む



底鼓は背中に鉄を支える。

底鼓の横固定金具



底鼓ラム

2個



2個



4個



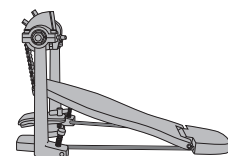
2個



締め付けねじ



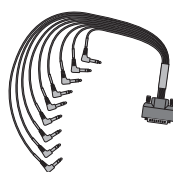
底鼓の槌



底鼓がペダルを踏む



太鼓の棒



接続線



電源アダプター



ドライバー



六角穴



ドラムの鍵



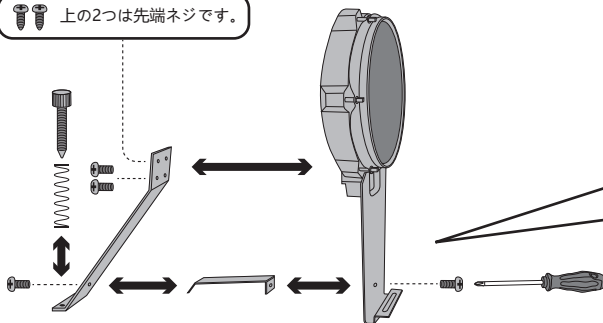
組立図

02

底鼓を組み立てる

- 取り付けの際は、ネジを締め、指を挟まないように注意して操作してください。

上の2つは先端ネジです。



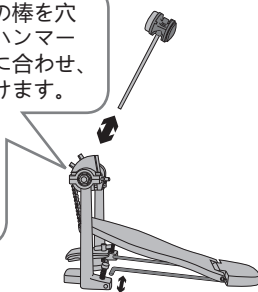
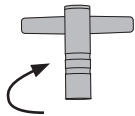
図示のドライバーでベースドラム、固定部品、サポートを6つのビスでロックします。更に2つのスプリングをそれぞれ2つの滑り止めボルトに通して、支持材の底部にロックして地面に食い込む。

03

踏み木棒を取り付ける

- ロッドは所定の位置に差し込み、ネジを締めて緩みを避ける。

図のようにハンマーの棒を穴に差し込み、羊毛のハンマーを回してドラムの面に合わせ、更にドラムの鍵をかけます。

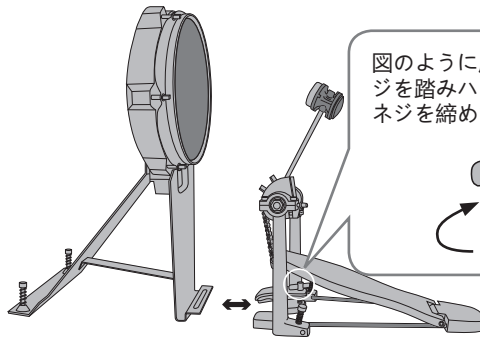


図のように固定鉄の棒を穴の間に挿入します。

04

底鼓と踏み金槌の固定

- 底ドラムとハンマーはロックを固定し、外れないようにしてください。

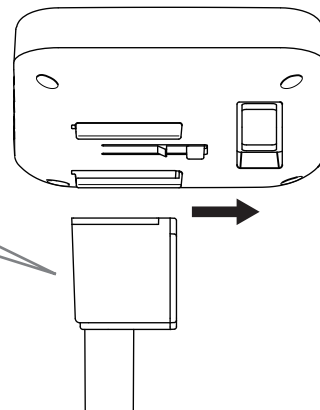


図のように底ドラムのフランジを踏みハンマーで固定し、ネジを締めます。

05

本体ケースステーの取り付け

本体ケースのサポートを正しい方向に押し、本体ケースに留めます。

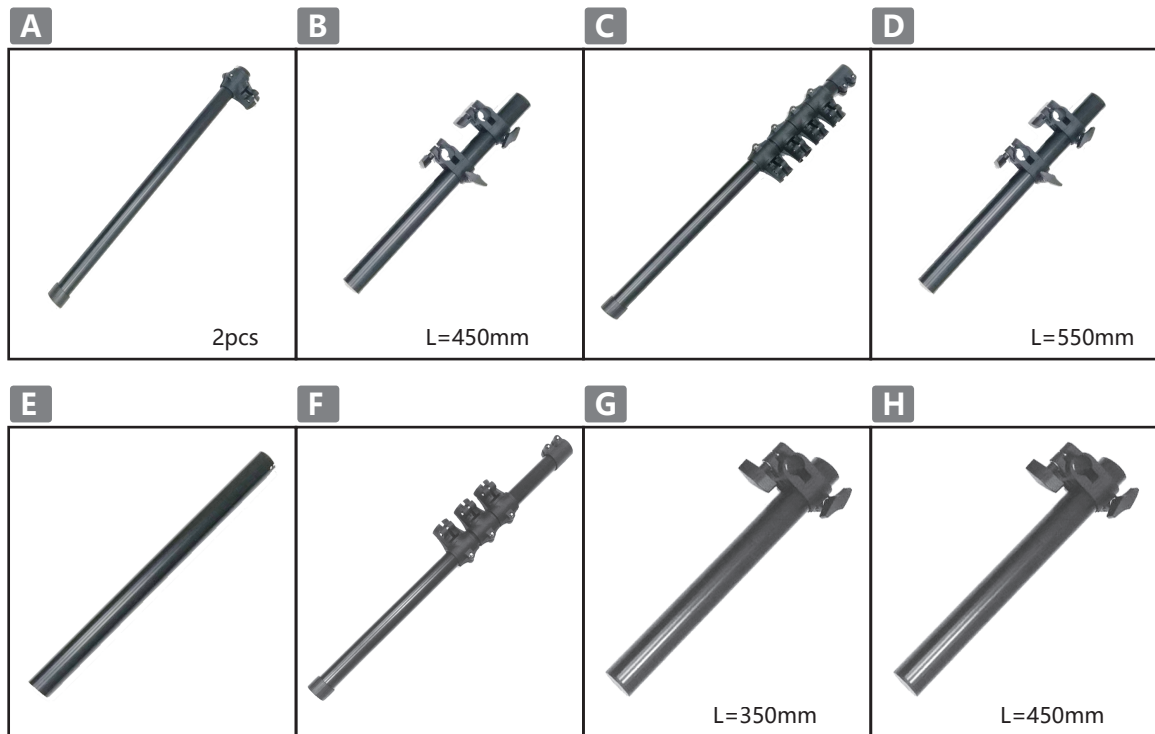




06

ドラムフレーム

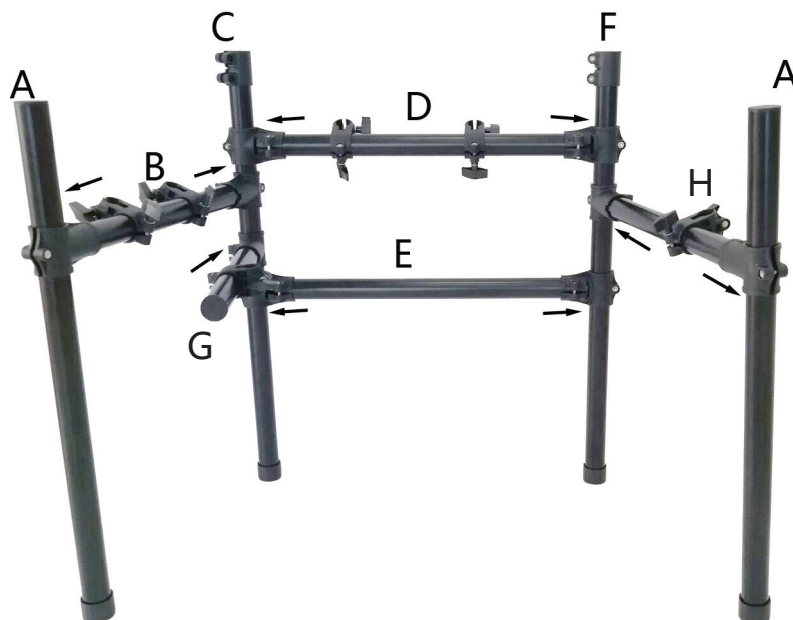
- 包装を開けたら、すぐにすべてのものが含まれているかどうか確認してください。もし漏れがあったら、ディーラーに連絡してください。



07

ブラケットの取り付け

- 取り付け中は、ネジを締め、指を挟まないように注意してください。
- 指示の方向にステーを組みましょう。。



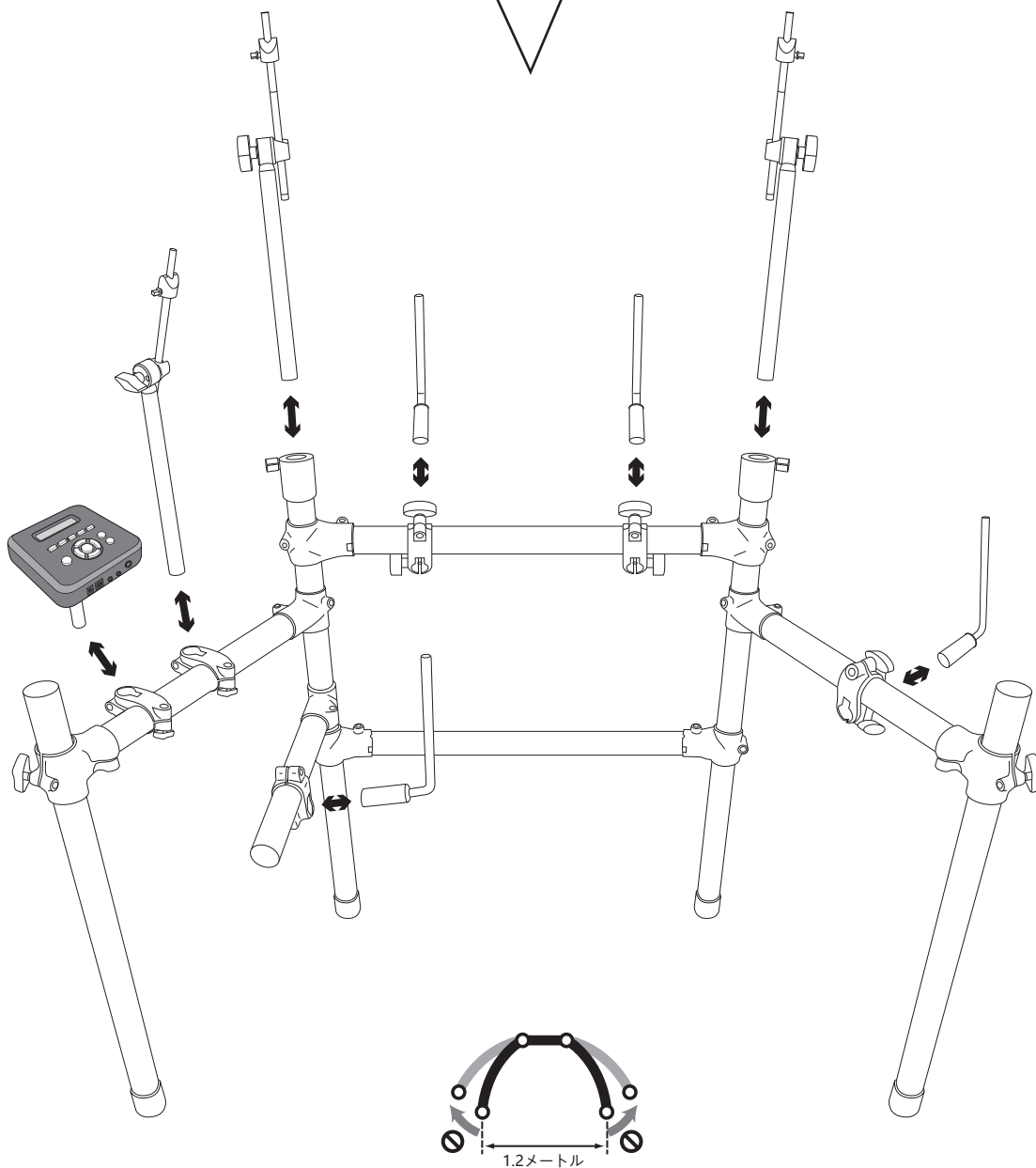
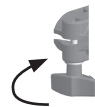


08

支持棒と本体箱の取り付け

- 支持棒と本体ケースは所定の位置に挿入し、プラスチックヘッドねじを締めて落下しないようにする

シンバル3本の支柱、ドラム4本の支柱、
本体ケースをそれぞれの位置に入れて、
プラスチックのヘッドネジを締めます。



安全のため、ブラケットの幅は1.2メートル以上にはしないでください。

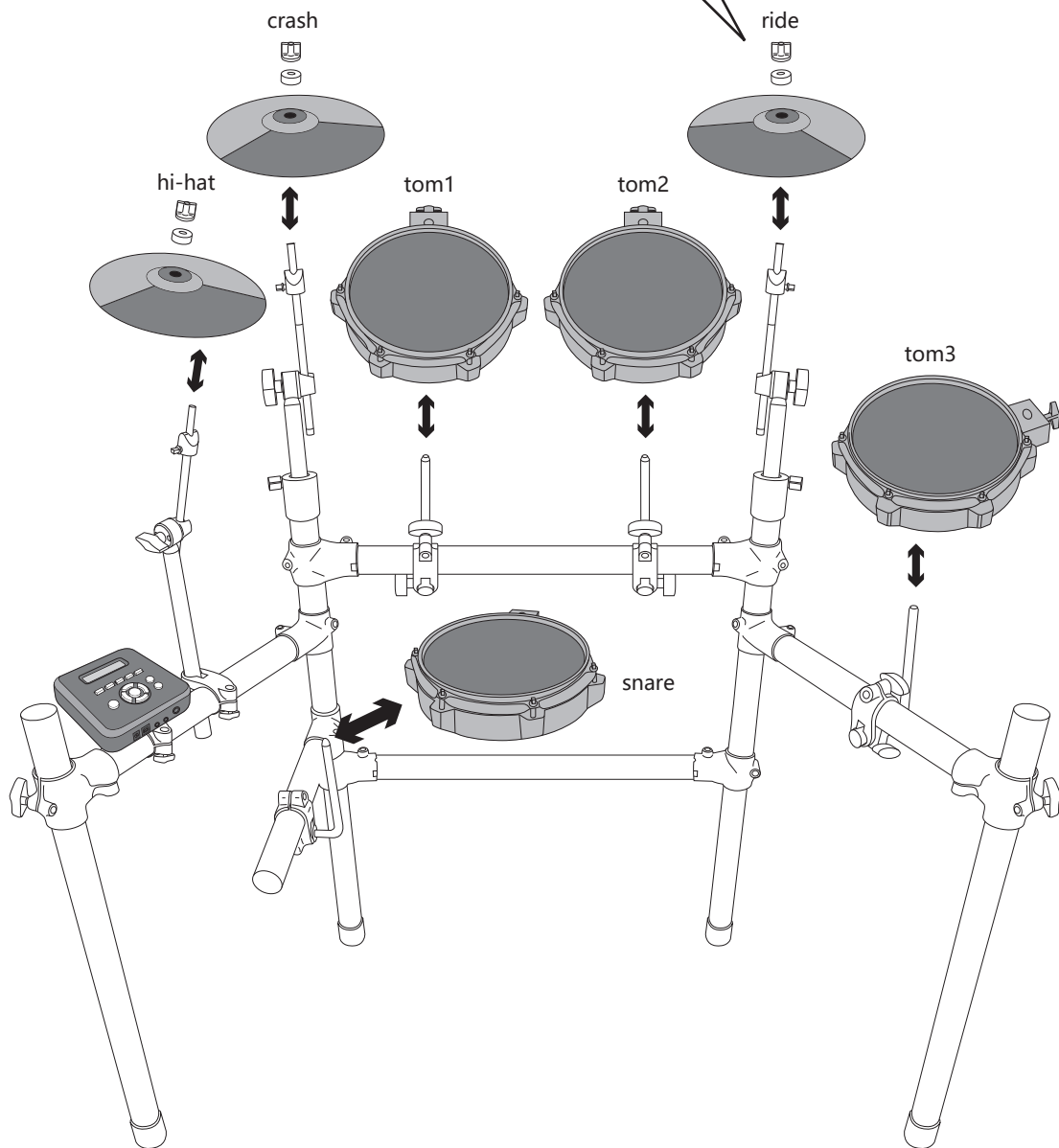


09

打撃部品の取り付け

- ドラムカバーを入れたらネジを締めて緩みを避ける。
- シンバルは締め付けずに空間を残して上下に動かします。

シンバルの3本のポールのナット、円のクッションを外し、対応する支持棒に3つのシンバルをセットして、ナットをねじります。
3つのドラム、1つのドラムをそれぞれ対応する支持棒にセットし、ねじを締めます。
注：シンバル、ドンドンドラム、ドラムの機能にはそれぞれ違いがあります。
アクセサリ表示を参考にして正しく取り付けてください。

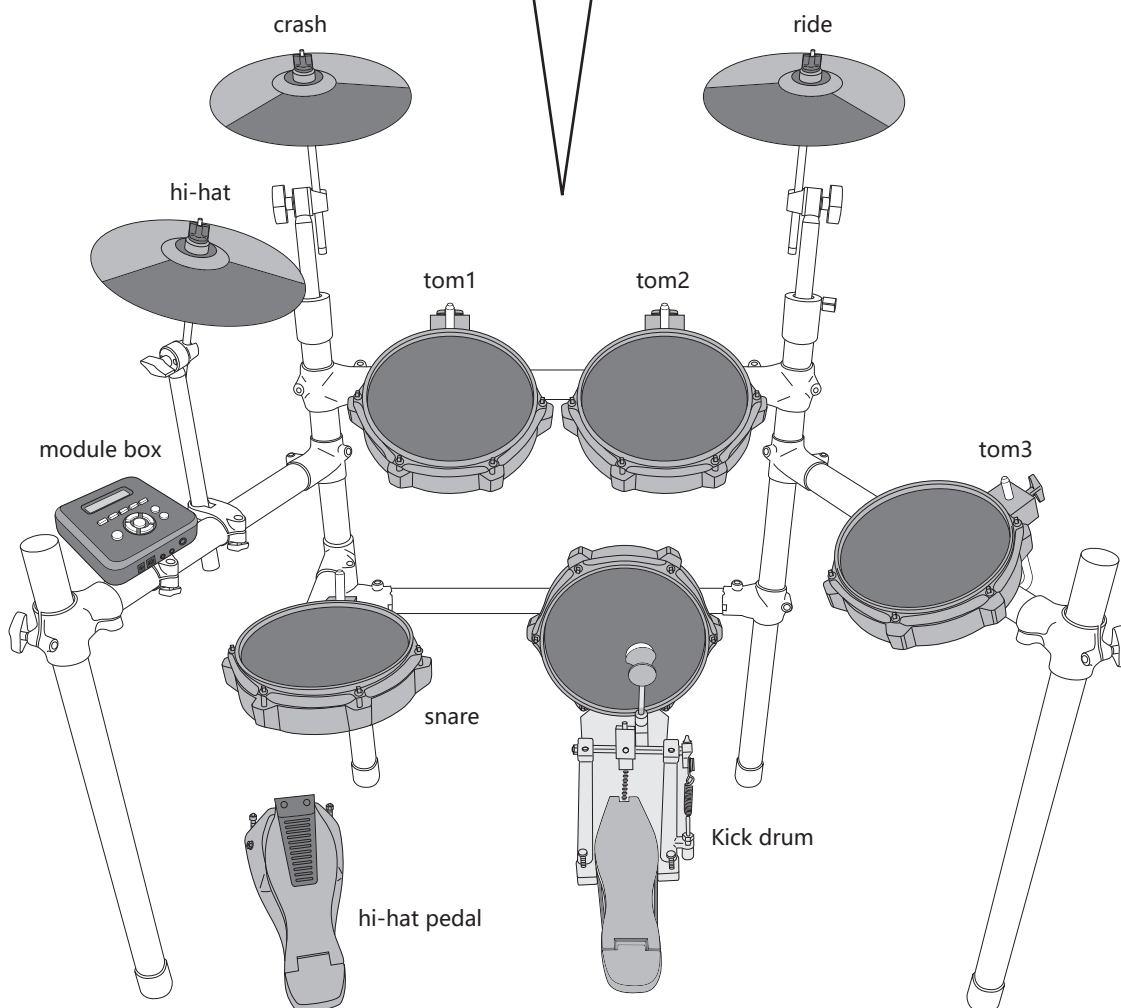
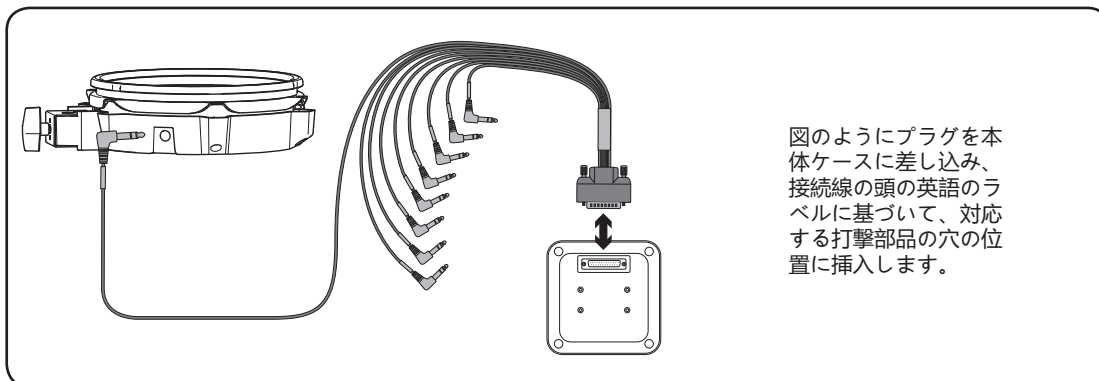




10

底鼓を置いて接続線を挿入する

- 接続線は所定の位置に挿してください。接触不良を避けるために、図のように正しく挿入してください。

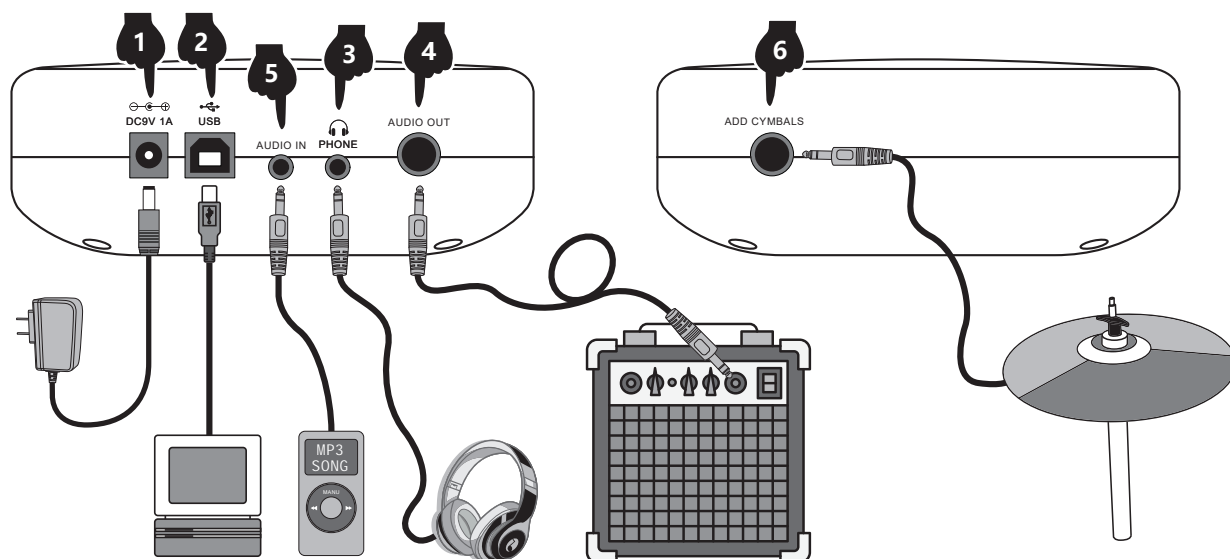


シンバルのペダルを踏む位置

底鼓ペダルの配置位置



本体ケース挿入口図示



1 電源ケーブル接続

- 1.使用時は図示の通りに電源コードに接続し、一端はドラム本体ケースの電源ソケットに差し込み、他端は100-240 V家庭用電源コンセントに差し込む（図1）
- 2.本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグを抜いて保管してください。

2 USB MIDIソケット

電子ドラムを使用したMIDI USBインターフェースは、MIDIを有する音楽デバイスと接続してインタラクティブにすることができます。

- 1.パソコン、携帯電話にあらかじめインストールした音楽ソフトを通じて、演奏、作曲、保存などの機能操作を学びます。（図2）
- 2.パソコンや携帯電話と接続した後、設備上のオーディオ出力はドラム本体ボックスのオーディオ入力端子と接続してこそ、設備上の音響効果を同期させることができます。（図5）

3 イヤホンジャック

イヤホンを接続すると、バッティングの詳細の変化をモニターできます。スピーカーを接続していないときは、他の人の邪魔になりません。（図3）

4 オーディオ出力ソケット

オーディオ出力端子は、自分のスピーカー（専用ドラムスピーカーが必要）と大型オーディオ機器を接続することができます。（図4）

5 オーディオ入力ソケット

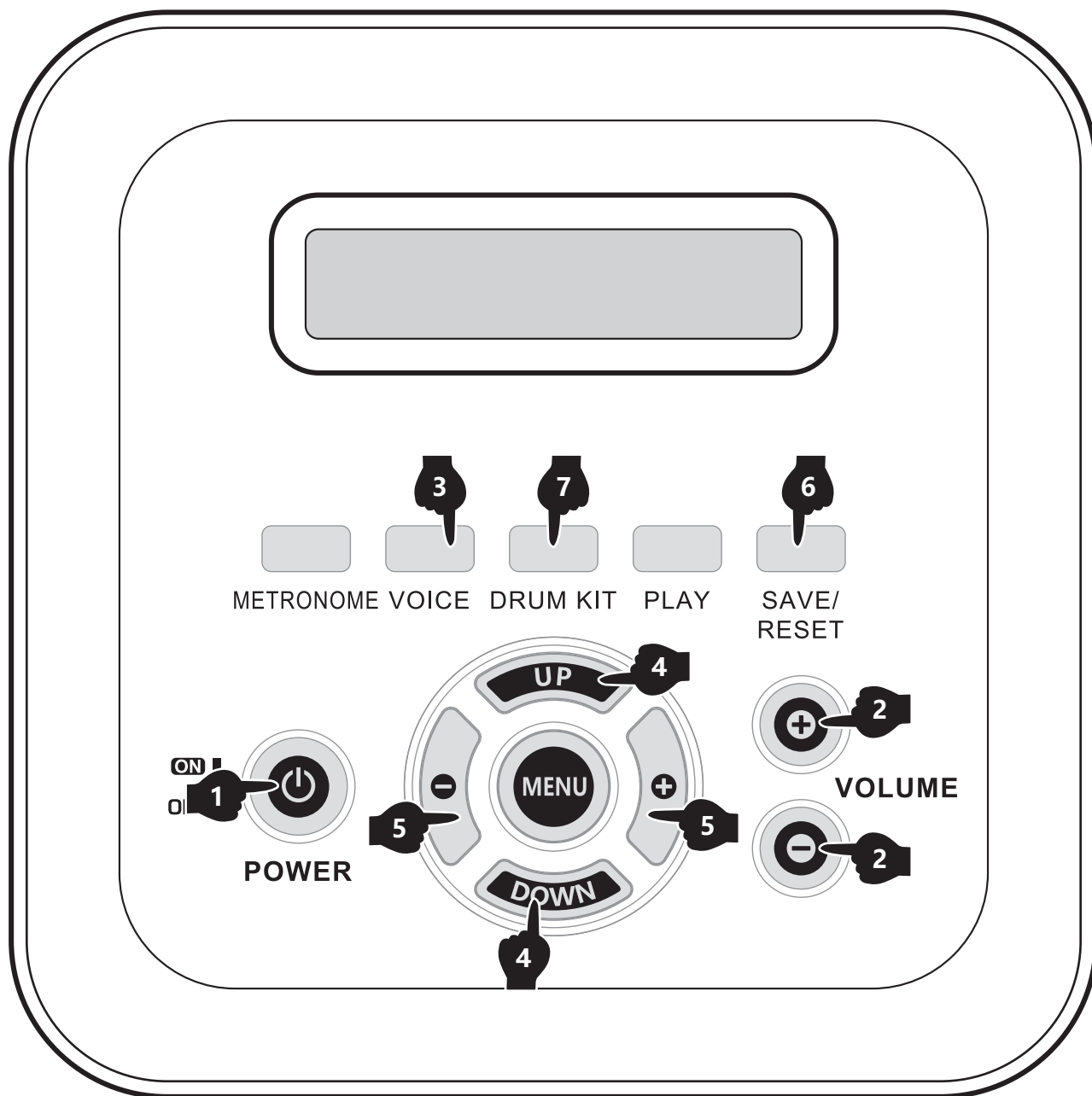
オーディオ入力ソケットは、外部デバイスをドラム本体ボックスに接続して再生することができる（MP3.携帯電話などのオーディオ信号入力）。（図5）

6 端子を増やす

このソケットはディスクを追加でき、打撃部品の拡充に便利です。（図6）

ご注意

- 設備の故障を避けるため、接続する前に、必ず音量を下げて電源オフをご確認ください。
- スピーカー、イヤホン、外付け機器は別売りです。



1 起動電源

1. 「POWER」スイッチをオン位置に押すと演奏状態になります。(図1)
 2. しばらく使わない場合は、電源を切ってください。
- 本製品のプロセッサチップは複雑で、コンピュータシステムのように、応答できない場合があります。電源スイッチを切ってから開けてください。

2 音量調節

「VOLUM+-」ボタンを使って、音量を満足のいく位置に調整してください。(図2)



操作の説明

3 ドラムの音色選択

1. 「VOICE」 ボタンを押して、モニターに表示 (Voice) し、ドラムセット調整モードに入ります。(図3)
2. 「UP/DOWN」 ボタンを使って、調整のために次のオプションを選択できます。(図4)

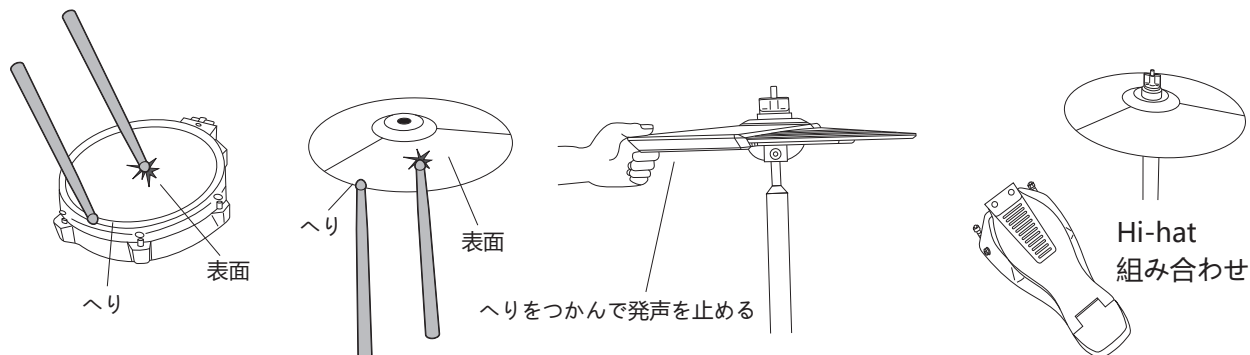
ディスプレイの表示:

- (KitNum 001-015) : ドラムセット選択-全部で15セットのプリセットドラムセット。
 - (KitVol 000-137) : ドラムセットの音量-合計128段の調整が可能です。
 - (Kick 001-015) : ベースドラムの音色選択-計15個の音色が調整できます。
 - (Snare 001-015) : ドラムの音色選択-計15個の音色が調整できます。
 - (SnareRim 001-015) : ドラムの音選び-計15個の音色調整が可能です。
 - (Tom 1 001-015) : ドラム1の音色選択-計15個の音色調整が可能です。
 - (Tom 2 001-015) : ドラム2の音色選択-計15個の音色調整が可能です。
 - (Tom 3 001-015) : ドラム3の音色選択-計15個の音色調整が可能です。
 - (Cras 001-015) : 強音擦の音色選択-全部で15つの音色が調整できます。
 - (CrasRim 001-015) : 強音擦側打音選択-全15の音色調整が可能です。
 - (Cras 2 001-015) : 強音擦2音色選択-計15音色調整が可能です。
 - (Cras 2 Rim 001-015) : 強音擦2辺打ち音色選択-計15個の音色調整が可能です。
 - (Ride 001-015) : 畳音擦音選択-全部で15音調整できます。
 - (RideRim 001-015) : 畳音擦辺打音選択-全部で15個の音色が調整できます。
 - (OpenHat 001-015) : 開擦音色選択-全15音色調整が可能です。
 - (Close Hat 001-015) : 閉じる擦音選択-全部で15個の音色が調整できます。
 - (Pedal 001-015) : 踏擦音色選択-全部で15個の音色が調整できます。
3. 「+/-」 ボタンを使って上記のオプションのパラメータ調整ができます。(図5)
 4. 「SAVE/RESET」 のボタンを押して、調整したドラムのセットを保存して、後で起動しやすいです。(図6)
 5. 「DRUM KIT」 のボタンを押すと、保存されたドラムグループをカスタマイズ調整して呼び出すことができます。(図7)

4 ドラム叩き

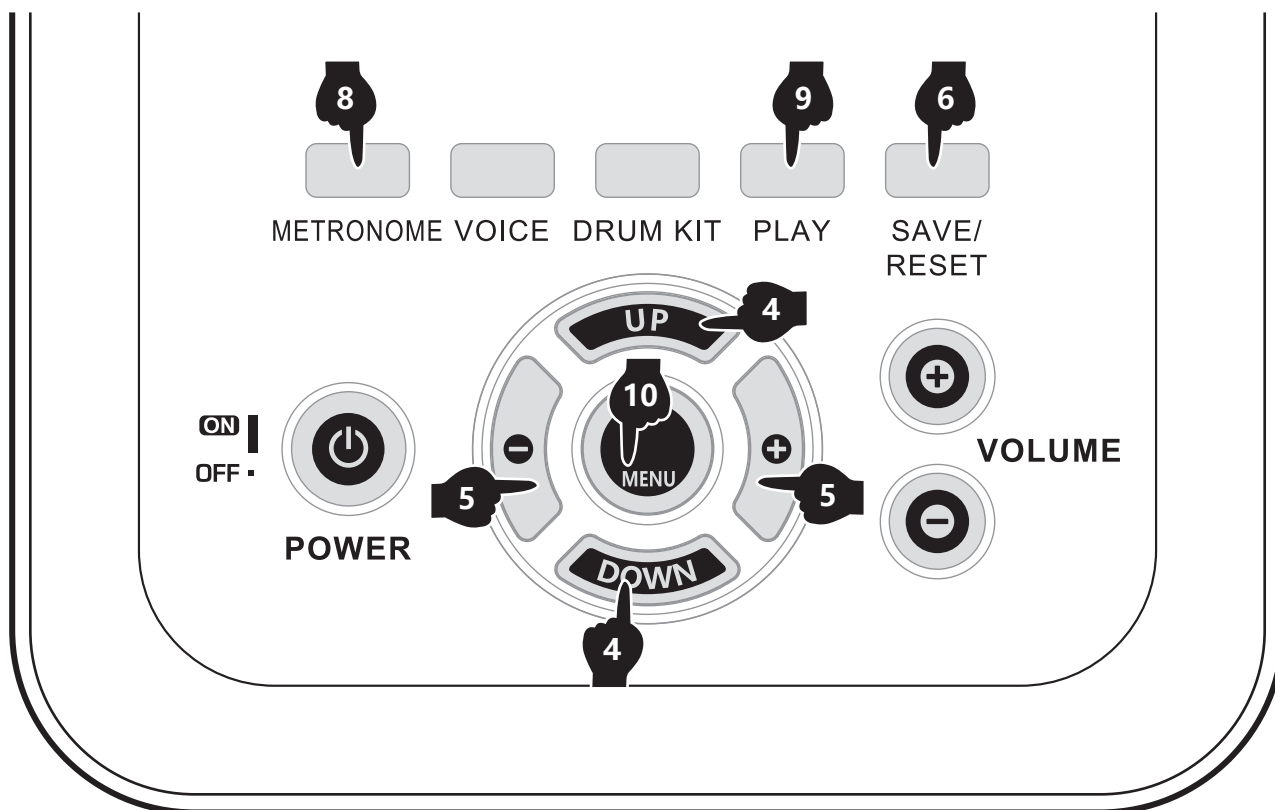
本製品はダブルトリガー誘導を採用しており、打撃効果音を実際的なサウンドドラム効果に近づけています。

1. 「スネアドラム」 は、ドラムフェースとドラムエッジをタップできます。
2. 「クラッシュシンバル」と「ライド・シンバル」 は、シンバルのフェイスとエッジをタップし、シンバルのエッジを指で押さえることで音を止めることができます。
3. 「ハイハットシンバル」と「ハイハットペダル」 の組み合わせにより、音色が変化します。
 - ハイハットシンバルの音色を開く：シンバルの表面をクリックします。
 - ハイハットシンバルの音色を閉じる：ペダルを踏み、シンバルをタップしている間は閉じたままにします
 - ハイハットペダルの音色：ペダルを踏んでシンバルの表面を叩かないです。





操作の説明



5 メトロノーム

1. 「METROME」 ボタンを押して、画面表示 (Metro) メトロノームに入ります。(図8)
2. 「UP/DOWN」 ボタンを使って、調整のために次のオプションを選択できます。(図4)

ディスプレイの表示:

- (Time 002-016) : メトロノーム速度 - 合計4段階の標準速度が調整できます。
 - (Beat 001-009) : メトロノームタイプ - 全9種類の調整が可能です。
 - (MetroVol 000-137) : メトロノーム音量 - 合計128レベルで調整可能です。
3. 「+/-」 ボタンを使って上記のオプションのパラメータ調整ができます。(図5)
 4. 「PLAY」 のボタンを押して、メトロノームを再生し、再度押すと停止します。(図9)

6 デモ曲を内蔵して再生

1. 「MENU」 ボタンを何回か押して、ディスプレイに (Song) が表示されるまで、サブオプション楽曲モードに入ります。(図10)
2. 「UP/DOWN」 ボタンを使って、調整のために次のオプションを選択できます。(図4)

ディスプレイの表示:

- (Num 001-030) : 楽曲選択-内蔵楽曲計30曲。
 - (GmVol 000-137) : 和弦伴奏の音量-合計128段の調整が可能です。
 - (DrmVol 000-137) : ドラムセットの音量-合わせて128段の調整が可能です。
3. 「+/-」 ボタンを使って上記のオプションのパラメータ調整ができます。(図5)
 4. 「PLAY」 ボタンを押して楽曲の再生を開始し、再度押すと停止します。(図9)



操作の説明

7 再生速度

例示的な楽曲またはメトロノーム再生モードでは、楽曲とメトロノーム再生の速度を調整します。

1. 「MENU」 ボタンを何回か押して、ディスプレイに (Tempo) が表示されるまで、サブオプションの再生速度モードに入ります。(図10)

ディスプレイの表示:

- (Speed 030-250) : 再生速度選択-合計221段階の速度調整。
2. 「+/-」 ボタンを使ってパラメータ調整を行い、範囲 (Speed 030-250) は全部で221級です。(図5)

8 打楽器部品の感度調整

1. 「MENU」 のボタンを何回か押して、ディスプレイに (Sensity) が表示されるまで、サブオプションに入って楽器部品の感度調整モードを打ちます。(図10)

2. ドラムをドラムで叩きます。

3. 「UP/DOWN」 ボタンを使って、調整のために次のオプションを選択できます。(図4)

ディスプレイの表示:

- (PadSen 001-006) : 面打ち感度-合計6段階で調整できます。
 - (RimSen 001-006) : フリック感度-合計6段階で調整できます。
 - (HHCLevel 001-003) : 踏擦感度-全部で3段階調整できます。
 - (HHCSen 001-003) : 踏擦閉じ速度-合計3段階で調整できます。
 - (Threshold 001-022) : トリガしきい値-合計32レベルで調整できます。
 - (XTalk 001-022) : クロストークしきい値-全部で32段階調整できます。
 - (Retrigger 001-0032) : 繰り返しトリガ-合計32レベルで調整できます。
 - (Velocity 001-003) : 強度曲線-全部で3段階調整可能です。
 - (Volume 000-137) : ドラム音量-全128段階調整可能です。
4. 「+/-」 のボタンを使って、習慣に応じて上記のオプションのパラメータ調整ができます。(図5)
 5. 「UP/DOWN」 ボタンを押して、調整したパラメータを保存して、後で使いやすいです。(図6)

9 ミキシング/バランス

1. 「MENU」 ボタンを何回か押して、ディスプレイに (Utlity) が表示されるまで、サブオプションのミックス/バランス調整モードに入ります。(図10)

2. 「UP/DOWN」 ボタンを使って、調整のために次のオプションを選択できます。(図4)

ディスプレイの表示:

- (RevType 000-005) : 残響タイプ-全部で6段階調整可能です。
 - (Revlevel 000-137) : 残響の大きさ-全部で128段階調整可能で、数値が (000) の場合、この機能をオフにします。
 - (EQuH 000-137) : 高周波バランス-128段階調整可能です。
 - (EQuL 000-137) : 低周波バランス-128レベルで調整可能です。
3. 「+/-」 ボタンを使って上記のオプションのパラメータ調整ができます。(図5)
 4. 「SAVE/RESET」 のボタンを押して、調整したパラメータを保存して、後で使いやすいです。(図6)

10 出荷時設定をリセットする

「SAVE/RESET」 ボタンを3秒以上押して、全パラメータをリセットし、出荷時の設定を復元します。(図6)



ドラムの音色

KICK

- 1 Acoustic Kick
- 2 Military Kick
- 3 Original Kick
- 4 Funk Kick
- 5 Standard Kick
- 6 Dance Kick
- 7 Rock Kick
- 8 Jazz Kick
- 9 808 Kick
- 10 Songo Kick
- 11 909 Kick
- 12 Fairfax Kick
- 13 Dancehall Kick 3
- 14 70`s Kick
- 15 Clean Kick

SNARE

- 16 Acoustic Snare
- 17 Military Snare
- 18 Original Snare
- 19 Funk Snare
- 20 Standard Snare
- 21 Dance Snare
- 22 Rock Snare
- 23 Jazz Snare
- 24 808 Snare1
- 25 Songo Snare
- 26 909 Snare
- 27 Fairfax Snare
- 28 Dancehall Snare
- 29 70`s Snare
- 30 Clean Snare
- 31 Acoustic Snare Rim
- 32 Military Snare Rim
- 33 Original Snare Rim
- 34 Funk Snare Rim
- 35 Standard Snare Rim
- 36 Dance Snare Rim
- 37 Rock Snare Rim
- 38 Jazz Snare
- 39 808 Snare Rim
- 40 Songo Snare Rim
- 41 909 Snare Rim
- 42 Fairfax Snare Rim
- 43 Dancehall Snare Rim
- 44 70`s Snare Rim
- 45 Clean Snare Rim

Tom

- 46 Acoustic Tom1
- 47 Military Tom1
- 48 Original Tom1
- 49 Funk Tom1
- 50 Standard Tom1
- 51 Dance Tom1
- 52 Rock Tom1
- 53 Jazz Tom1
- 54 808 Tom1
- 55 Songo Tom1
- 56 909 Tom1
- 57 Fairfax Tom1
- 58 Dancehall Tom1
- 59 70`s Tom1
- 60 Clean Tom1
- 61 Acoustic Tom2
- 62 Military Tom2
- 63 Original Tom2
- 64 Funk Tom2
- 65 Standard Tom2
- 66 Dance Tom2
- 67 Rock Tom2
- 68 Jazz Tom2
- 69 808 Tom2
- 70 Songo Tom2
- 71 909 Tom2
- 72 Fairfax Tom2
- 73 Dancehall Tom2
- 74 70`s Tom2
- 75 Clean Tom2
- 76 Acoustic Tom3
- 77 Military Tom3
- 78 Original Tom3
- 79 Funk Tom3
- 80 Standard Tom3
- 81 Dance Tom3
- 82 Rock Tom3
- 83 Jazz Tom3
- 84 808 Tom3
- 85 Songo Tom3
- 86 909 Tom3
- 87 Fairfax Tom3
- 88 Dancehall Tom3
- 89 70`s Tom3
- 90 Clean Tom3

CRASH

- 91 Acoustic Crash1
- 92 Military Crash1
- 93 Original Crash1
- 94 Standard Crash1
- 95 Funk Crash1
- 96 Dance Crash1
- 97 Rock Crash1
- 98 Jazz Crash1
- 99 808 Crash1
- 100 Songo Crash1
- 101 909 Crash1
- 102 Fairfax Crash1
- 103 Dancehall Crash1
- 104 70`s Crash1
- 105 Clean Crash1
- 106 Acoustic Crash1 Rim
- 107 Military Crash1 Rim
- 108 Original Crash1 Rim
- 109 Standard Crash1 Rim
- 110 Funk Crash1 Rim
- 111 Dance Crash1 Rim
- 112 Rock Crash1 Rim
- 113 Jazz Crash1 Rim
- 114 808 Crash1 Rim
- 115 Songo Crash1 Rim
- 116 909 Crash1 Rim
- 117 Fairfax Crash1 Rim
- 118 Dancehall Crash1 Rim
- 119 70`s Crash1 Rim
- 120 Clean Crash1 Rim
- 121 Acoustic Crash2
- 122 Military Crash2
- 123 Original Crash2
- 124 Standard Crash2
- 125 Funk Crash2
- 126 Dance Crash2
- 127 Rock Crash2
- 128 Jazz Crash2
- 129 808 Crash2
- 130 Songo Crash2
- 131 909 Crash2
- 132 Fairfax Crash2
- 133 Dancehall Crash2
- 134 70`s Crash2
- 135 Clean Crash2
- 136 Acoustic Crash2 Rim
- 137 Military Crash2 Rim

- 138 Original Crash2 Rim
- 139 Standard Crash2 Rim
- 140 Funk Crash2 Rim
- 141 Dance Crash2 Rim
- 142 Rock Crash2 Rim
- 143 Jazz Crash2 Rim I
- 144 808 Crash2 Rim I
- 145 Songo Crash2 Rim
- 146 909 Crash2 Rim
- 147 Fairfax Crash2 Rim
- 148 Dancehall Crash2 Rim
- 149 70`s Crash2 Rim
- 150 Clean Crash2 Rim

RIDE

- 151 Acoustic Ride
- 152 Military Ride
- 153 Original Ride
- 154 Standard Ride
- 155 Funk Ride
- 156 Dance Ride
- 157 Rock Ride
- 158 Jazz Ride
- 159 808 Ride
- 160 Songo Ride
- 161 909 Ride
- 162 Fairfax Ride
- 163 Dancehall Ride
- 164 70`s Ride
- 165 Clean Ride
- 166 Acoustic Ride Rim
- 167 Military Ride Rim
- 168 Original Ride Rim
- 169 Standard Ride Rim
- 170 Funk Ride Rim
- 171 Dance Ride Rim
- 172 Rock Ride Rim
- 173 Jazz Ride Rim
- 174 808 Ride Rim
- 175 Songo Ride Rim
- 176 909 Ride Rim
- 177 Fairfax Ride Rim
- 178 Dancehall Rim
- 179 70`s Ride Rim
- 180 Clean Ride Rim

HI-HAT

- 181 Acoustic Hi-hat Open
- 182 Military Hi-hat Open
- 183 Original Hi-hat Open
- 184 Standard Hi-hat Open
- 185 Funk Hi-hat Open
- 186 Dance Hi-hat Open
- 187 Rock Hi-hat Open
- 188 Jazz Hi-hat Open
- 189 808 Hi-hat Open
- 190 Songo Hi-hat Open
- 191 909 Hi-hat Open
- 192 Fairfax Hi-hat Open
- 193 Dancehall Hi-hat Open
- 194 70`s Hi-hat Open
- 195 Clean Hi-hat Open
- 196 Acoustic Hi-hat Close
- 197 Military Hi-hat Close
- 198 Original Hi-hat Close
- 199 Standard Hi-hat Close
- 200 Funk Hi-hat Close
- 201 Dance Hi-hat Close
- 202 Rock Hi-hat Close
- 203 Jazz Hi-hat Close
- 204 808 Hi-hat Close
- 205 Songo Hi-hat Close
- 206 909 Hi-hat Close
- 207 Fairfax Hi-hat Close
- 208 Dancehall Hi-hat Close
- 209 70`s Hi-hat Close
- 210 Clean Hi-hat Close
- 211 Acoustic Hi-hat Pedal
- 212 Military Hi-hat Pedal
- 213 Original Hi-hat Pedal
- 214 Standard Hi-hat Pedal
- 215 Funk Hi-hat Pedal
- 216 Dance Hi-hat Pedal
- 217 Rock Hi-hat Pedal
- 218 Jazz Hi-hat Pedal
- 219 808 Hi-hat Pedal
- 220 Songo Hi-hat Pedal
- 221 909 Hi-hat Pedal
- 222 Fairfax Hi-hat Pedal
- 223 Dancehall Hi-hat Pedal
- 224 70`s Hi-hat Pedal
- 225 Clean Hi-hat Pedal

プリセットドラムセット

- | | | | | |
|------------|------------|--------|------------|--------------|
| 1 Acoustic | 4 Funk | 7 Rock | 10 Songo | 13 Dancehall |
| 2 Military | 5 Standard | 8 Jazz | 11 909 | 14 70`s |
| 3 Original | 6 Dance | 9 808 | 12 Fairfax | 15 Clean |

カスタムドラムセット

- 16 Kit Num

デモ曲

- | | | | | | |
|-----------------------|------------|---------------|------------------|-----------------|-------------|
| 1 Drum & Bass | 6 Country1 | 11 March | 16 Pop Rock | 21 Swing1 | 26 Swing3 |
| 2 Blues | 7 R & B | 12 Pop Bossa | 17 Country Blues | 22 Swing2 | 27 Jazz2 |
| 3 Jazz1 | 8 Pop1 | 13 Fusion | 18 Pop4 | 23 Country2 | 28 Country3 |
| 4 Rock1 | 9 Pop2 | 14 Dance | 19 Scotland | 24 Modern Pop | 29 Rock2 |
| 5 Electroponic & Funk | 10 Pop3 | 15 Jazz Swing | 20 Latin Jazz | 25 Electroponic | 30 Pop5 |



製品のメンテナンス

製品のメンテナンスと保護を慎重に行い、製品の寿命を延ばし、故障を減らすことは非常に重要な役割を果たします。

1 熱、湿気、直射日光の当たらないようにしてください。

直射日光に過度にさらさない、またはエアコンの近く、または非常に暑いところに置かないでください。

2 テレビやラジオの近くで使ってはいけません。

この製品はテレビやラジオの受信に対してビデオやオーディオの干渉を引き起こす可能性があります。このような状況が発生したら、製品をテレビやラジオからそらすべきです。

3 シンナーまたは類似の化学品を使用して清掃してはならない。

弱性の水溶液と中性洗剤で濡らした柔らかい布で本製品をきれいにします。布の塊を溶液に浸し、乾くまでねじる。

4 揺れないように、衝撃を避けてください。

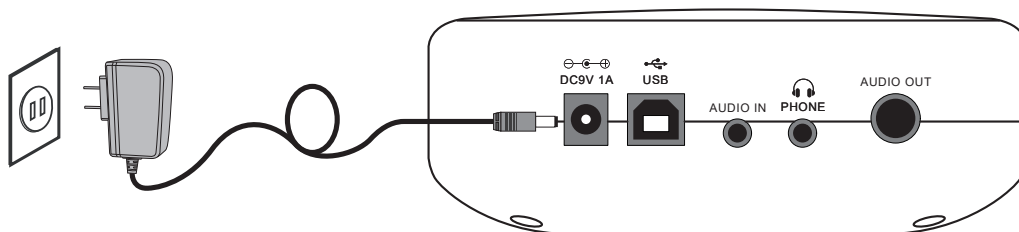
製品は移動時には取り扱いに注意し、激しい振動と衝突を厳禁し、外装の破損や内部の電子部品が破損しないようにします。



安全上のご注意

電源

本製品は標準的な室内壁のコンセントから供給できます。本製品に指定された電源コードを使ってください。しばらく使わない場合は必ず電源を切ってください。長期間使わない場合は、電源コードを抜いて大切に保管してください。



標識

本製品の安全と正確な使用を確保するために、ユーザーと他人に対する損害と財務に対する損害を防止するために、本明細書と製品には一連の安全標識が表示されています。各種マークとその意味は以下の通りです。

⚠ 警告

このマークは、本マークを無視して誤って本製品を操作すると、死亡または重傷を負う恐れがあることを示しています。

⚠ 注意

このマークは、本マークを無視して誤って本製品を操作すると、人員が負傷したり、その他の財務が破損する恐れがあるということです。

模範事例を示す



この三角形のマーク (△) はユーザーが注意すべき事項を表します。(左例は感電注意)



斜線を引いた丸いマーク (⊘) は禁止事項を表します。マークの中や隣の図は、具体的に禁止されている内容を表しています。(左の例は取り外し禁止)



丸黒底マーク (Ⓢ) は守らなければならない事項を表します。このマークの図は、具体的に守らなければならない事項の内容を示しています。(左の例はコンセントから電源プラグを抜かなければなりません)



安全上のご注意

⚠ 警告

煙、異臭、過熱

本製品から煙が出たり、異常なおいがしたり、過熱したりした場合、引き続き使用すると火災や感電の危険があります。上記の状況が発生した場合は、直ちに下記の操作を行うこと。

- 1.電源を切る。
- 2.プラグをコンセントから抜く。
- 3.あなたのディーラーと連絡します。

電源コード

- 1.電源線の不適切な使用は火災や感電の危険があります。次の注意事項を守らなければなりません。
 - 本製品に指定された専用電源コードを使用する必要があります。
 - 出力電圧は、家庭用定格電圧の範囲内の交流電源を使用しなければならない。
 - 電源コンセントおよび電源延長線を過負荷してはいけません。
- 2.電源線の処理が不適切で、損傷や破損による火災や感電の危険があります。以下の注意事項を守らなければなりません。
 - 電源ラインに重いものを置いたり、熱くしたりしないでください。
 - 電源コードを改造したり、過度に曲げたりしないでください。
 - 電源コードをねじったり引っ張ったりしないでください。
 - 電源コードやプラグが損傷した場合は、同じ仕様の電源コードを交換してください。
- 3.濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 4.水がかからないところで電源コードを使ってください。水は火災や感電の恐れがあります。
- 5.花瓶または他の水を入れた容器を本製品に絶対に置かないでください。水は火災や感電の危険があります。



- 6.未成年者が電源コードや接続板に触れないようにしてください。未成年者は電気安全の知識がなく、感電の危険があります。



⚠ 注意

電源線の使用が不適切で、火災や感電の恐れがあります。次の注意事項を守らなければなりません。

- 電源コードを炉のそばや他の熱源の近くに絶対に置かないでください。
- 電源コンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らないように、プラグ本体をつかんでください。
- 電源コードはコンセントに差し込む必要があります。
- 電源コードを接続または切断する前に、まず電源がオフされていることを確認してください。
- 雷雨が発生した場合や旅行に出かける前、壁の電源コンセントから電源コードを抜く。
- 少なくとも一年に一回、壁の電源コンセントから電源コードを抜き取って、プラグの周りにたまっているほこりをきれいにしてください。



本製品を焼き捨てないでください。

本製品を火の中に放置しないでください。製品が燃焼し、内部の電子部品が爆発し、火災やけが人が出る恐れがあります。



分解と改造

本製品をいかなる方法で分解したり、改造したりしないと、感電、やけど、または他の人身傷害の恐れがあります。すべての内部検査、調整及びメンテナンス作業をあなたのディーラーに委託するべきです。





安全上のご注意

水及び異物

水、その他の液体及び(金属片等)が本製品に入ると火災及び感電の危険があります。上記の状況が発生した場合は、直ちに下記の操作を行うこと。



- 1.電源を切る。
- 2.電源コードを使って電気を供給している場合、壁の電源コンセントから抜いてください。
- 3.あなたのディーラーと連絡します。

落下または衝撃

本製品は落下または強い衝撃により損傷された後も継続して使用すると火災や感電の危険があります。上記の状況が発生した場合は、直ちに下記の操作を行うこと。



- 1.電源を切る。
- 2.電源コードを使って電気を供給している場合、壁の電源コンセントから抜いてください。
- 3.あなたのディーラーと連絡します。

ビニール袋

本製品の包装用のビニール袋を頭にかぶせたり、口に入れたりしないと窒息の危険があります。



本製品とサポートとの距離を置く

ステントに登ると倒れたり壊れたりする恐れがあります。幼児がいる家庭は特に注意してください。



陳列されているところ

本製品を平らでない表面またはその他の不安定なところに置くことは避けてください。そうでないと、本製品が落下し、怪我をする恐れがあります。



清潔である

本製品を清掃する前に、壁の電源コンセントから電源コードのプラグを抜かないと、火災や感電の恐れがあります。



製品の移動

本製品を移動する前に、壁の電源コンセントから電源コードのプラグを抜いて、他のケーブルと接続線を全部抜いてください。そうでないと、線が壊れて、火災や感電の危険があります。



インターフェース

本製品のインターフェースでは指定された機器と装置のみを接続し、指定されていない機器や装置を接続すると火災や感電の恐れがあります。



位置選択

本製品を下記の場所に放置すると、火災や感電の危険があります。



- 温度が高いところやほこりが多いところ。
- キッチンや他の油煙のあるところ。
- 直射日光の当たるところ、または他のどの場所でも高温になることがあります。

音量

音楽を長時間大音量で再生しないでください。イヤホンを使う時は特に注意してください。音量が高すぎると聴力が悪くなります。



重いもの

重いものを本製品に置いてはいけません。そうしないと、本製品の上部が重すぎて転倒したり、上のものが落下したりして、怪我をする恐れがあります。



ブラケットの正しい組み立て

ブラケットの組み立てが正しくないと転倒し、本製品が落下し、けが人が出る恐れがあります。このため、本製品が正しくそのラックに取り付けることを保証するために、その取り付けガイドが付いている指示に従って組み立てなければなりません。





保証書

修理規定

- 1.本製品を正常に使用して発生した故障は、購入した日から_____日間、無料で修理できます。
- 2.保証期間中に故障が発生した場合、修理時にこの保証書と買い物手形を提示しなければなりません。
- 3.下記の状況が発生したら、無償保証は提供されません。
 - A.ユーザーの不適切な使用による破損。
 - B.火災、水害、地震、落雷などの不可抗力による故障。
 - C.許可なしに自己分解による故障。
- 4.保証期間を超えたら、当社は一生修理しますが、コストがかかります。

ベンダー: _____

住所: _____

連絡先電話: _____

修理記録

日付	修理記録	整備員

